

住民同士のつながりを広げよう！

地域の中で住民同士がお互いに知っている、“顔見知り”の関係を構築します。
また、誰もが自分らしく社会参加ができるよう、多様な主体による支援体制づくりを進めます。

※【凡例】*関連事業* ●:新規 ○:継続 ▲:一部着手 ×:未着手 *評価* A:進展 B:一部進展 C:未進展



2
1

2
2

2
3

活動目標（活動方針）	社会福祉協議会が行うこと			特に進んだこと		一緒に進めた人	方向性
	推進活動	*関連事業*	*評価*	平成 27 年～31 年度			
<p>ふれあいや交流の場づくり</p>  <p><住民や地域が行うこと> ▶個人や家族、仲間と交流活動に参加する。 ▶多くの人が参加できる交流機会を設ける。</p>	<p>①ふれあい・いきいきサロン活動の支援 高齢者等の住民が気軽に集まり、ふれあいを通じた生きがいや仲間づくり、健康づくりを進める『ふれあい・いきいきサロン活動』等の交流活動の普及推進や活動支援を行います。</p> <p>②交流活動のプログラム調整（コーディネート） 経験豊富な高齢者や特技のある地域住民、ボランティア団体、民間企業や関連機関等の協力を得て、地区や町域での交流活動のプログラム調整や支援を行います。</p> <p>③新たな社会参加プログラムの検討 関係団体や機関と連携し、高齢者等の仲間づくりや生きがいづくり、健康づくり活動など、できるだけ参加しやすいプログラム内容や行事のあり方の検討を進めます。</p>	<p>●サロン活動や給食サービス活動の普及推進 ○サロン活動や給食サービス活動への助成 ○サロンプログラム支援</p> <p>○レクリエーション用具の貸与 ○地区の交流活動の支援 ●プログラム支援情報の収集と情報提供</p> <p>○コミュニケーション麻雀の普及推進 ▲近隣学生の交流活動への参画促進</p>	<p>① A 進展</p> <p>② A 進展</p> <p>③ A 進展</p>	<p>▶ふれあいいきいきサロン活動の新設 平成 27 年度以降、サロン未設置地区の活動立上げ支援を行う。8 地区 8 箇所(予定含む)に新たにサロン活動立上げ(噂島-金田-長津-イトーピア-矢尾-ニュー早島-下野-小浜)▶現 24 箇所。 ▶交流活動のプログラム調整（コーディネート） 過年度から継続して、町社協から町内外の民間企業、団体機関等へのプログラム協力要請。平成 27 年度から 5 年間で 13 プログラム追加(▶企業 5▶職能団体 3▶公的機関 1▶ボランティア団体 4)追加。▶調整件数；H27-20 件/年→H30-93 件/年。 ▶100 歳体操活動「ころぼん塾」の新設 平成 28 年度から町地域包括支援センターが住民主体の介護予防活動の立上げ支援を行う。一部サロンが「ころぼん塾」の基盤に。 ▶町内 17 地区に「ころぼん塾」(22 箇所)を立上げ。 ▶近隣学生の交流活動への参画 平成 28 年度から岡山県立大学の学生を地域活動で受入開始。</p>	<p>地域住民 社協 民間団体 社協 地域住民 行政 教育機関 社協</p>		
<p>社会参加の環境づくり</p>  <p><住民や地域が行うこと> ▶社会参加を支援する活動に参加する。</p>	<p>④町域での移動手段の仕組みづくり 高齢者や障がいがある方等、心身の制約から移動に困っている方のニーズ調査や移動方法の研究に取り組み、福祉移送の仕組みを考案・試行します。</p> <p>⑤運転ボランティアやガイドヘルパー等の養成 移動手段に困っている方の外出をサポートするために、運転や外出援助を行う人材の養成を行います。また、子育て世代の方が町内行事や会議等へ参加しやすくなるよう、子育て支援機関や関係団体と一時的な託児ボランティアのあり方を検討します。</p> <p>⑥関係団体や福祉施設と連携した居場所づくり 子どもや障がいがある方の居場所や社会参加の場ができるよう、関係団体や機関と連携し、福祉施設や公共スペース等の活用による居場所づくりのあり方を検討します。</p>	<p>●高齢者や障がいの移動ニーズ調整 ●サロン活動等への参加支援の試行検討 ●福祉有償運送の検討</p> <p>●運転ボランティアの養成 ●介助ボランティアの養成 ×託児ボランティアの検討</p> <p>●関係団体や福祉施設との居場所づくりの検討</p>	<p>④ A 進展</p> <p>⑤ A 進展</p> <p>⑥ B 一部進展</p>	<p>▶外出支援活動検討会の開催 平成 27 年 2 月から町内の移動に関する課題を、住民協働で検討する場を町社協に設置。以降、毎月開催。行政や民間事業所も参画。 ▶開催回数；54 回▶住民延べ参加者数 317 名(R2.1 現在) ▶福祉車両による移動サービスの試行 平成 27 年 3 月から町社協・介護支援専門員担当の利用者の内、車イス使用者等の移動支援を試行開始(～平成 28 年 3 月)。 ▶実利用者 23 名▶延べ利用者数 85 名(=運行回数)。 ▶サロン送迎活動の試行 平成 28 年 1 月に運転ボランティアを立上げ、町社協へ登録するサロン活動等の会場へ自力で通えない方の送迎支援を開始。 ▶利用団体；給食ボランティア 6 団体・サロン 3 団体(R1.10 現在)。 ▶延べ利用者数；H28-103 名/年→H30；948 名/年。 ▶福祉有償運送事業の実施 平成 28 年 4 月から町社協事業として、自力で公共交通機関が利用できない方の自宅と目的地との送迎を概ねタクシー料金の半額以下で行うサービスを開始。運転手は住民登録者(有償活動)。付添いあり(応援団)▶利用登録者数；H28-15 名/年→H30-53 名/年 ▶延べ利用者数；H28-H30；→155 名/3 年。 ▶託児サービス事業の実施 令和元年 11 月から町シルバー人材センターが「オアシス早島」で託児事業を開始。</p>	<p>地域住民 社協 福祉団体 社協 福祉団体 社協 地域住民 社協 福祉事業所 社協</p>		
<p>関係団体の連携強化</p>  <p><住民や地域が行うこと> ▶多様な活動者がつながる機会を設ける(参加する)。</p>	<p>⑦ふれあい活動者の顔つなぎの場づくり サロン活動の担い手や福祉ボランティア等の活動者同士が情報交換を行い、それぞれの活動の課題を共有したり、協力して課題解決へ取り組めるよう、その連携づくりを支援します。</p> <p>⑧障がい者関係機関の顔つなぎの場づくり 障がいがある方の日中生活の理解を深めたり、個別の生活や外出支援、余暇活動の場づくりを進めていく為、関係機関と連携した協議体の組織づくりへ協力支援します。</p> <p>⑨社会参加を支援する関係機関の情報交換の場づくり 関係団体や機関と連携、協力をしながら行事を企画、または参画し、地区や町域で様々な交流活動が行えるよう、社会参加を支援する関係機関と定期的な情報交換を行います。</p>	<p>○ふれあいいきいきサロン連絡会の開催 ○給食ボランティア連絡協議会の開催 ▲ボランティア関係者連絡会の開催検討</p> <p>●障がい者関係団体・機関連絡会の開催支援</p> <p>▲町民活動や交流活動を支援する団体や機関との定期的な情報交換</p>	<p>⑦ A 進展</p> <p>⑧ A 進展</p> <p>⑨ C 未進展</p>	<p>▶サロン活動者への研修強化 平成 28 年 4 月から町社協主催のサロン活動者研修と情報交換の場を年 2 回に増やす。新規立上げ検討地区住民も招き、新規組織化へ誘導。▶研修会増強後、サロン活動新規立上げ 7 箇所。 ▶障がい者福祉事業所連絡会の開催 平成 27 年 4 月から町内の相談支援事業所(リンク)が事務局となり、障がい者支援機関同士の事例検討や情報交換、啓発活動を企画する連絡会を立上げ。▶参加機関数；H27-8 機関→H30-20 機関 ▶開催回数；23 回▶延べ参加者 378 名(H30) ▶社会福祉法人連絡協議会の設立 平成 30 年度 10 月に町社協が事務局となり、同法人の使命である地域貢献のあり方や連携活動を模索する協議会の組織化に向けた準備会を開催。11 月 22 日に同協議会『ほっとけんネット早島』設立。 ▶参加機関数；4 法人(別に参加検討中 1 法人) ▶準備会開催回数；6 回(H30.10-R1.9)</p>	<p>地域住民 社協 福祉団体 福祉事業所 福祉事業所 社協</p>		